

教員名	もちづき さとし 望月 聡
専門分野	神経心理学 認知行動病理学
ゼミのテーマ	実験や質問紙調査で心理的障害や心理的問題の発生・維持のしくみをとらえる
ゼミの内容	<p>臨床心理学科に所属するみなさんにとって、臨床らしくない「認知・学習心理分野」や「教育・社会心理分野」の科目を学ぶことはどんなふう感じられるのでしょうか。「臨床心理分野」の科目で学ぶことはなにか別物？どう関係するの？と考えてしまっている人も、なかにはいらっしゃるかもしれません。でも、別物ではなく関係もあって、これらの、いわゆる“基礎心理学”の知見や研究の方法は、臨床心理学、特に心理的障害や心理的問題の発生や維持のしくみ・メカニズムを明らかにするうえでは不可欠でもありますし、そのような研究成果が、心理検査や心理療法の土台となっている部分もあります。</p> <p>このゼミでは、認知心理学、感情心理学、人格心理学、社会心理学、神経心理学、精神生理学などの研究から得られた知見やその方法を一緒に学んでいきます。特に、あえて「大学生を対象とした」実験や質問紙調査が行われている研究論文を中心に採りあげてゼミの皆で検討していくことで、専門演習Ⅲにおける卒業論文作成のための研究遂行能力を培うことを目標とします。</p> <p>専門演習Ⅰでは、日本語で書かれた研究論文を中心に採りあげて、研究の知見と方法を学びましょう。個人またはグループでの発表と議論を行います。</p> <p>専門演習Ⅱでは、各自の興味・関心をさらに絞り込んでいく作業となります。専門演習Ⅰと同様に、個人またはグループでの発表と議論という形式で進めていきますが、ここでは、英語で書かれた研究論文にもぜひチャレンジしていきましょう。</p> <p>専門演習Ⅲでは、各自の研究テーマに沿った研究を実施し、卒業論文を執筆します。</p>
次年度選考会 選抜方法	このゼミを志望する理由、学んでみたいことを A4 判用紙 1 枚のレポートにまとめて提出してください。そのレポートをもとに面接を行います。